

令和 6 年(2024)7 月 『里山でホタルの饗宴』

日に日に気温が上がり、空気に湿り気が混じってくる 5 月の終わりから松子の里にホタルが出現します。6 月 1 日、ネイチャークラブ恒例のホタル観察会を行いました。この日の主役はゲンジボタルです。まだほのかに明るい午後 7 時 30 分ごろ、松子川の藪の中で、ホタルが一つ二つと光りはじめます。やがて暗闇がおとずれると、その光は数を増し、川の流れてに沿って飛び交います。発光しながら飛んでいるのはほとんどがオスですが、面白いのは一頭一頭がバラバラで光るのではなく、集団で一斉に光り、一斉に消えることです。草むらにいるメスの光を探しやすくするためと言われていています。つまり、ホタルの光はお互いを見つけあうための求愛信号なのです。神秘的な光景の背後では、自分たちの子孫を残すためのホタルたちの努力が繰り返されています。ホタルがいるということは、エサになるカワニナ(巻き貝)はじめ、豊かな水辺の環境が存在することに他なりません。この環境を守り続け、未来の子どもたちに引き継ぎたいという思いを新たにしたい一晩でした。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 吉田 090-5317-9738

Facebook 「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

